

どんな緊急事態でも企業が生き抜くために 〈ご存知ですか？ 事業継続計画(BCP)〉

想像してください

- 大地震や豪雨で
 - ・会社が被災
 - ・取引先やライフラインが断絶
- 新型インフルエンザが大流行



など緊急事態のとき、



あなたの会社は生き残れますか？
従業員の安全や雇用は守れますか？
お客様や取引先の信用は守れますか？

そのためには、

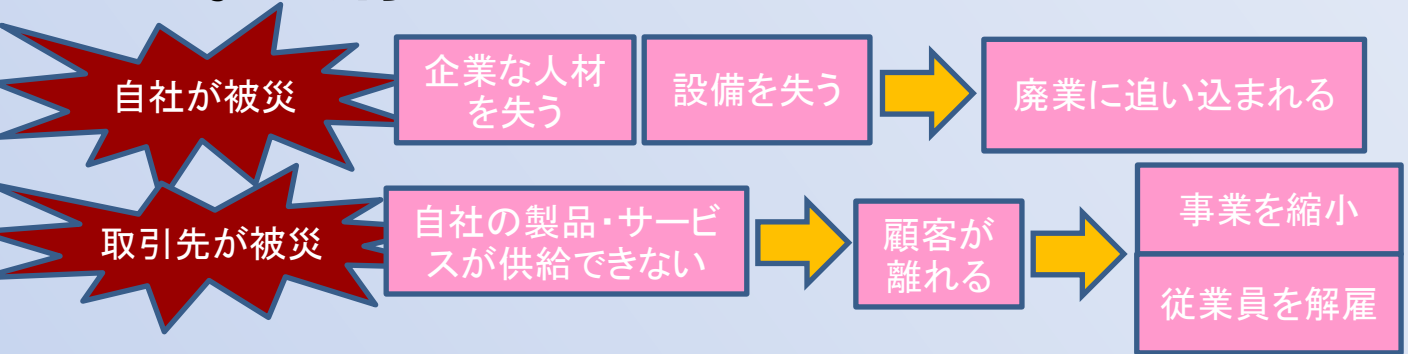
事業継続計画(BCP)

が必要です。

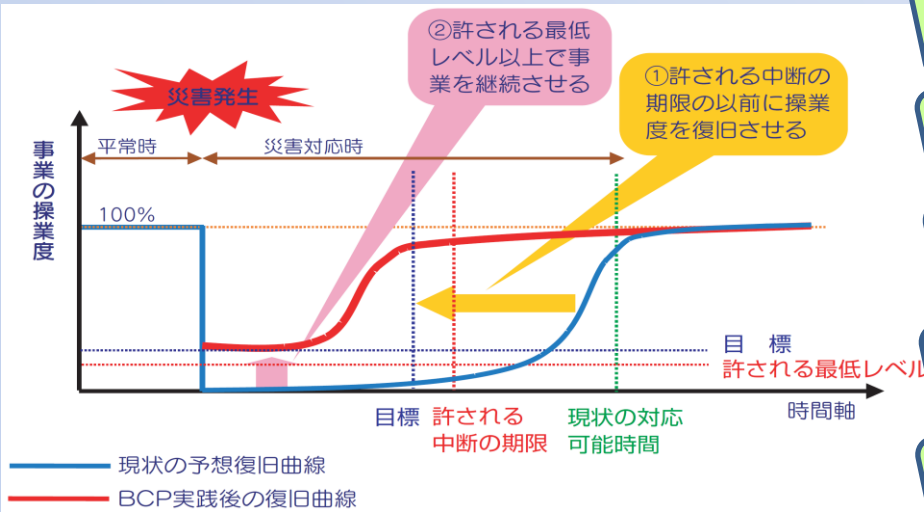
事業継続計画(BCP: Business Continuity Plan)

企業等の事業存続を脅かす緊急事態に見舞われたときを想定し、重要業務を許容限界以上のレベルで維持するとともに、許容される期間内に操業度を回復するための事前の対策・緊急期の対応計画・事後の復旧計画のことをいいます。

BCPがなかったら・・・



BCP策定のメリット



- 事業の早期復旧
- 顧客の流出を防ぐ
- マーケットシェア低下を防ぐ
- 取引先の信用が高まり、取引の拡大
- 競争力の強化

BCP策定のために・・・

京都BCP

中小企業BCP策定運用指針

BCP策定は、日頃の経営戦略そのものです！

自社の経営実態（仕入れ、在庫、顧客）、弱点を再確認

京都府では「京都BCP」を推進

行動例

大規模災害では、個別企業だけでは十分対応できない。

- 平常時：地域や同業種等でのリスク情報の共有
- 緊急事態に備えた専門的人材のリスト化
- 緊急対応時：同業組合等による各企業のBCP遂行支援
- 経済団体から災害対策本部へのリエゾン派遣
- 復旧・復興期：官民連携した風評被害対応

「京都」全体にBCPの考え方を適用し、地域全体が連携して、京都の活力を維持・向上させる。